

世界史

(問題)

2016年度

〈2016 H28103424〉

注意事項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～8ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
 - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
 - (2) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	☒ 良い	☐ 悪い	☐ 悪い
マークを消す時	☐ 良い	☐ 悪い	☐ 悪い

5. 記述解答用紙記入上の注意
 - (1) 記述解答用紙の所定欄（2カ所）に、氏名および受験番号を正確に丁寧に記入すること。
 - (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を書いてはならない。
 - (3) 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。

数字見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- (4) 受験番号は右詰めで記入し、余白が生じる場合でも受験番号の前に「0」を記入しないこと。

万	千	百	十	一
	3	8	2	5

(例) 3825番⇒

6. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。終了の指示に従わない場合は、答案のすべてを無効とするので注意すること。
8. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
9. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

〔Ⅰ〕 次の文章を読んで、設問に答えなさい。設問 1, 3 は記述解答用紙の所定欄に記し、設問 2 は、マーク解答用紙の所定欄に一つだけマークしなさい。

古くから富として尊重された金や銀の産地は限られており、多くの地域では交易などで得るしかなかった。紀元前 2 千年紀前半、古アッシリアの商人は、青銅器を作るのに不可欠な金属である A を、イラン方面から輸入してアナトリアに運び、その見返りに金や銀を得た。

新王国時代のエジプトは、他の諸国が所望するほど、金の国であったが、この時期のエジプトの金は、多くは産地である他地域から運ばれてきた。
a

金や銀は価格や価値の基準とされ、前 1 千年紀には金属貨幣（コイン）が作られるようになった。伝承では、最初のコインは金と銀の合金であるエレクトラムで造られた。
b

設問 1 A に入る適切な語を、漢字で記しなさい。

設問 2 下線部 a に関して、次のア～エのなかで、産地として最もふさわしいのはどれか。

ア コンゴ イ ヌビア ウ モロッコ エ リビア

設問 3 下線部 b に関して、このコインを造ったとされる王国を滅ぼした王はどれか。

〔Ⅱ〕 次の文を読み設問に答えなさい。設問 1, 2 はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークし、設問 3 は記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

オアシスの道や海の道と呼ばれるユーラシア大陸の東西交易路は、紀元前後から本格的に開発されていた。たとえば中国の史書の中には、中国の港から南インドへいたるルートが記されているものもある。このルートはさらに、インドから西方世界へとつながっている。
a

こうした道は、様々な産物だけでなく、宗教も運んだ。東南アジアで成立したカンボジアやシュリービジャヤ王国、シャイレンドラ朝などは、インドで生まれたヒンドゥー教や仏教の影響の強い建築物を残している。
b
c

設問 1 下線部 a について、海の道に関わる代表的な南インドの王朝はどれか。

- イ グプタ朝
- ロ ヴァルダナ朝
- ハ チョーラ朝
- ニ クシャーナ朝

設問 2 下線部 b の国名とその代表的な建築物の組み合わせとして、正しいものはどれか。

- イ シュリービジャヤ王国はアンコール・ワット、シャイレンドラ朝はプランバナン
- ロ カンボジアはアンコール・トム、シャイレンドラ朝はボロブドゥール
- ハ カンボジアはアンコール・ワット、シュリービジャヤ王国はボロブドゥール
- ニ シュリービジャヤ王国はプランバナン、シャイレンドラ朝はボロブドゥール

設問 3 下線部 c に関し、インドへ向かった玄奘や義浄が仏教を学んだインド東部の僧院の名前をカタカナで記入しなさい。

〔Ⅲ〕 秦から後漢までの歴史に関するA～Dの文を読んで、各設問に答えなさい。設問1, 2, 3, 4, 6はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークしなさい。設問5, 7は記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

A

秦は周の東遷のとき、周王を洛邑に送り届けた功績で諸侯となった国で、始皇帝の登場まで500年以上の歴史をもっている。秦はそのような伝統的な面と、戦国時代以降の革新的な面を併せもっている。そのような歴史を背景に、始皇帝は中国統一後、皇帝^a号を採用し、全国を36郡にわけ、中央から官僚を派遣して統治し、匈奴を撃退して万里の長城を修築するなど、中央集権体制を確立した。^b

設問1 下線部aに関して、中国王朝最後の皇帝となる宣統帝の退位前後に関する記述で、不適切なものはどれか。

- イ 1911年10月に四川で鉄道国有令に反対する暴動が起こり、清朝からの独立が宣言された。
- ロ 南京に集まった革命派と独立各省の代表は、孫文を臨時大總統に選出し、中華民国の建国を宣言した。
- ハ 清朝は袁世凱を総理大臣に起用したが、袁は革命派と取引して皇帝を退位させ、臨時大總統となった。
- ニ 宣統帝は退位した後、日本が満州国を建設すると、その執政に就任し、ついで満州国皇帝となった。

設問2 下線部bの郡県制に関して、不適切な記述はどれか。

- イ 周の封建制にかわって、春秋時代の覇者が実施した。
- ロ 始皇帝は封建制を廃止して、郡県制を全土に施行した。
- ハ 前漢高祖は直轄地に郡県制を布き、それ以外の地に封建制を復活させた。
- ニ 隋は郡を廃し、州が県を統括する州県制を採用し、唐もこれを踏襲した。

B

前漢武帝は始皇帝が建設した統一帝国を完成させた。郡国制は実質的に郡県制と等しくなった。対外面では高祖以来の消極策を改め、匈奴に反撃してこれを漠北に撃退した。また西域・南越・朝鮮などを経営し、空前の支配領域を形成した。^cしかしたび重なる外征は深刻な社会不安や財政逼迫をまねき、経済統制政策が実施された。^d

設問3 下線部cのシル川上流にある盆地は、名馬の産地として有名である。その地名はどれか。

- イ 烏孫 ロ 大宛 ハ 敦煌 ニ 大月氏

設問4 下線部dに関して、これに含まれないものはどれか。

- イ 均輸法 ロ 平準法 ハ 塩・鉄・酒の専売 ニ 限田法

C

前漢後期になると、中央では外戚や（あ）が実権を争い、地方では豪族による土地兼併が進行した。こうした中で外戚の王莽は、前漢を奪って新を建国した。王莽は周の政治を理想とし、儒家の經典に基づく急進改革を行ったが、社会の混乱をまねき、各地で農民反乱^eが起こった。さらに地方豪族の反乱が起こり、新は15年で滅亡した。

設問5 空欄（あ）に入る最も適切な語句を漢字で記入しなさい。

設問6 下線部eに関して、中国史上の農民反乱の説明として、不適切な記述はどれか。

- イ 黄巾の乱は太平道の教祖張角が指導した反乱で、後漢滅亡の一因となった。
- ロ 黄巢の乱は朱全忠に呼応して黄巢が指導した反乱で、唐の滅亡を決定的にした。
- ハ 紅巾の乱は元末の白蓮教などの宗教結社を中心とした農民反乱で、元滅亡の直接原因となった。
- ニ 白蓮教徒の乱は清中期に四川などの新開地で起こり、その鎮圧に郷勇が活躍し、清の弱体化が露呈した。

D

新末の動乱の中から、豪族の援助をえて漢を再興したのが劉秀（光武帝）である。光武帝は内政につとめ、対外的には消極的だった。後に後漢は積極的な対外政策に転じ、匈奴や西域諸国を服属させた。その後、幼帝が続き、外戚や（あ）が再び政治を混乱させ、やがて群雄割拠となったが、（い）は禪譲により魏を樹立した。以後、中国は隋による再統一まで長い分裂時代に入る。

設問7 空欄（い）に入る最も適切な人物名を漢字で記入しなさい。

〔IV〕 次の文を読み設問に答えなさい。設問1～3はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークし、設問4は記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

中華人民共和国は、自らを漢族と55の少数民族からなる多民族国家と規定し、それらすべてが「中華民族」であるとする。中国には、古来さまざまな民族が行き来したが、中華概念を軸に華夷の別が政治の世界で多く議論されるようになったのは宋代からである。元は、人々をモンゴル人、色目人、漢人、南人に分類したといわれるが、それらは統治概念による区分であり身体的特色を基準としたものではなかった。一方、対モンゴル戦争を始めた朱元璋は、元が天命を受けて建てられた王朝と認めつつ、「胡虜に百年の運なし」との古の言は正しいとして、その礼・義にもとる行為を弾劾し北伐の軍を進めた。この布告にある「胡虜を駆除し、中華を恢復する」という言葉は、やがて清末の革命派が利用するところとなったが、辛亥革命後の中華民国は、漢・満・蒙・回・チベット諸民族の協調を目指す五族共和をスローガンとした。

設問1 下線部aの背景・理由として誤っているものはどれか。

- ア 遼との澶淵の盟で、遼の君主を皇帝として認めざるを得なかった。
- イ 朱子学で集大成される宋学で、大義名分論などが盛んに論議された。
- ウ 朝鮮における小中華思想の台頭に、宋の士大夫が危機感を抱いた。
- エ 女真族の金は、南宋と講和を結ぶにあたり臣下の礼を要求してきた。

設問2 下線部bの説明として誤っているものはどれか。

- ア 早くから大ハーンに服属することで、モンゴル族でなくともモンゴル人に準ずる待遇をうける者もいた。
- イ 主に中央アジアから元にやってきたペルシア系などの人々は、いろいろな人の意味である色目人に分類された。
- ウ 漢族のみならず、契丹人や女真人、高麗人、渤海人など、もと金の支配下にあった住民を総称して漢人とした。
- エ 南宋治下の人々は南人といわれ、徹底した差別を受け、科挙が復活した後も応募を認められなかった。

設問3 下線部cの事例としてあげられたものはどれか。

- ア 皇帝のキリスト教への傾倒
- イ 兄弟間の大ハーン位継承戦争
- ウ 一夫多妻制の流行
- エ 朱子学以外を禁ずる文字の獄

設問4 下線部dについて、革命勃発から1920年代までの蒙（モンゴル）の動きを外モンゴルという語を使用して40字以内で述べなさい。

〔V〕 次の設問に答えなさい。設問1はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークし、設問2は記述解答用紙の所定欄に記しなさい。



設問1 この作品について説明した次の文章のうち、正しいものはどれか。

- ア 水上交通や絹織物産業で栄えた長江下流の商業都市、蘇州の殷賑のさまを描いた画卷である。
- イ 多様な人々や建造物などを精緻に描き、写実性を追求した明代絵画の中でも屈指の作品である。
- ウ 画院を保護し自らも絵筆を執った風流天子徽宗の手になる傑作として知られる。
- エ 都市の繁栄を活写した12世紀のこの画卷は、画題や構図を継承した数多くの類似作品を生んだ。

設問2 この作品名を記しなさい。

〔VI〕 以下の設問に答えなさい。設問1はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークし、設問2は記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

ロシアの起源については、一説によれば9世紀、リューリク率いるノルマン人が、A国を建てたのがその始まりとされる。10世紀末にキエフ公国がビザンツ帝国からキリスト教を受け入れ、以後ロシアは正教を奉ずる国家となった。ロシアでは多くのイコンが制作されたが、修道士アンドレイ＝ルブリョフによる作品がよく知られている（図）。旧約聖書「創世記」の族長アブラハムの家を、3人の天使が訪れたこの場面は、天使が3人であるところから、「父・子・聖霊」が一つの神であるというキリスト教の教義、Bを表している。

設問1 Aに入る適当な語を、以下から一つ選びなさい。

- ア モスクワ イ ノヴゴロド ウ ウラディミル エ キプチャク＝ハン

設問2 Bに入る適当な語を答えなさい。



図 アンドレイ＝ルブリョフ作イコン
トレチャコフ美術館（モスクワ）所蔵

〔Ⅶ〕 以下の文章を読み、設問に答えなさい。設問 1～3 はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークし、設問 4, 5 は記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

東地中海世界では中近世の時代、キリスト教勢力とイスラーム勢力とが互いに対抗し領土を奪い合った。ビザンツ帝国は、ユスティニアヌス帝の時代に最大の版図になったが、イスラーム勢力が伸長すると、7世紀にエジプトや中東地域のビザンツ領はイスラーム支配下に入った。その後ビザンツ帝国はセルジューク朝の圧迫で小アジアの領土を失うが、西欧から十字軍の遠征がなされ、中東地域でのキリスト教勢力は再び拡大した。だが、オスマン帝国が勢力を伸ばすと、スルタン d は1453年にビザンツ帝国を滅ぼし、東地中海世界はオスマン帝国の支配下に入る。その後オスマン帝国はバルカン半島とハンガリーを占領しウィーンに迫ったが、第2次ウィーン包囲が失敗すると e 条約でハンガリー主要地域などをオーストリアに割譲し、オスマン帝国は衰退に向かった。

設問 1 下線部 a に関して、誤りを含むものを選びなさい。

- イ ユスティニアヌス帝は、コンスタンティノーブルにハギア＝ソフィア聖堂を建造した。
- ロ ユスティニアヌス帝の命を受け、トリボニアヌスが『ローマ法大全』を編纂した。
- ハ ユスティニアヌス帝のビザンツ軍は、イタリアでランゴバルド王国を滅ぼした。
- ニ ユスティニアヌス帝のビザンツ軍は、イベリア半島の一部も征服した。

設問 2 下線部 b に関して、誤りを含むものを選びなさい。

- イ エジプトではイスラーム支配下に入った後も、キリスト教のコプト教会が存続した。
- ロ ヘラクレイオス 1 世はササン朝と戦い、シリア・エジプトを一時奪回した。
- ハ イスラーム勢力は、コンスタンティノーブルをたびたび攻撃した。
- ニ レオン 3 世が、イスラーム勢力との融和を図るために聖像禁止令を出した。

設問 3 下線部 c に関して、正しいものを選びなさい。

- イ オスマン帝国はハンガリー王ジギスムントが率いる連合軍をニコポリスの戦いで破り、ブルガリアを併合した。
- ロ オスマン帝国はコソヴォの戦いでロシアを破り、領土を拡大した。
- ハ オスマン帝国はビザンツ帝国からニケーアを奪い、一時首都とした。
- ニ オスマン帝国はシーア派のイスラーム教徒が政権を握る国家であった。

設問 4 空欄 d に入る人名を書きなさい。

設問 5 空欄 e に入る地名を書きなさい。

〔Ⅷ〕 次の文章を読み、設問に答えなさい。設問 1, 2, 5, 6 はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークし、設問 3, 4 は記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

19世紀前半のヨーロッパでは、フランス革命やナポレオン戦争ののちに、ウィーン体制と呼ばれる新しい国際秩序が構築された。これはヨーロッパ再建のために招集されたウィーン会議によって成立した体制であり、この結果、フランスでは、ブルボン王朝が復活してルイ 18 世が即位した。この復古王政は、当初ある程度近代的な自由主義を認める議会政治をとったが、しだいに反動的な政治におちいった。1824年に国王シャルル 10 世が即位すると、亡命貴族賠償法の制定などによって一気に反動政治が強化され、国民の不満を外にそらす目的で 1830 年 5 月には A への出兵もおこなわれた。また国王は新議会を招集せずに解散したため、これを批判する世論が高まり、ついに 7 月には、パリ民衆が決起した。この七月革命によってフランスでウィーン体制の一部が崩壊したことは、ヨーロッパ各国に大きな波紋を投げかけた。ウィーン体制は、押し寄せる近代ナショナリズムや革命の防波堤になることが期待されていたが、逆にヨーロッパは本格的な革命の時代に入ることになった。

設問1 下線部 a に関連して、フランス革命やナポレオン戦争に関して述べた次の文の中で、正しいものはどれか。

- イ 1791年、オーストリア皇帝レオポルト1世とプロイセンのフリードリヒ＝ヴィルヘルム1世は、ルイ16世の救援を諸外国に呼びかけるピルニッツ宣言を共同で出した。
- ロ 1792年、フランス軍はヴァルミーの戦いでバリーに迫るプロイセン・オーストリアの両軍に勝利した。
- ハ 1805年、ナポレオンはアウステルリッツの会戦で、ロシア・プロイセンの軍隊を撃ち破った。
- ニ 1815年、ナポレオンは現在のドイツにおけるワーテルローの戦いで、イギリス・オランダ・プロイセン連合軍に敗れた。

設問2 下線部 b に関連して、ウィーン会議やウィーン体制に関して述べた次の文の中で、正しいものはどれか。

- イ ウィーン会議の基本原則となったのは、フランス代表の政治家タレーランが提唱した正統主義と、イギリス・ロシアなどが主張する立憲主義であったといわれる。
- ロ ウィーン体制を支持したロシア皇帝アレクサンドル1世の指導で、キリスト教の友愛精神にもとづく神聖同盟が結成され、オスマン帝国を含むヨーロッパの全君主が加盟した。
- ハ ウィーン会議の結果、イギリス・ロシア・オーストリア・プロイセンが四国同盟という軍事的・政治的同盟を結成し、のちにフランスが加わり五国同盟となった。
- ニ ウィーン会議の結果、オランダは、オーストリア領ネーデルラントの領有が認められ、連邦共和国として復活した。

設問3 A にあてはまる地域は、のちにフランスの植民地となる。この地域名を答えなさい。

設問4 下線部 c に関連して、復古王政の反動政策を新聞等で批判した当時の共和主義者・自由主義者たちの中に、のちに首相となり、また第三共和政初代の大統領に就任した人物がいる。この人物は誰か。

設問5 下線部 d に関連して、七月革命について述べた次の文の中で、正しいものはどれか。

- イ オルレアン家のルイ＝フィリップが、あらたに成立した七月王政の国王となった。
- ロ 七月革命の結果、社会主義者や労働者の要求によって、1830年に国立作業場が設立された。
- ハ 古典主義の画家ドラクロワは、この七月革命を題材に「民衆を率いる自由の女神」を描いた。
- ニ スタンダールは、『人間喜劇』で七月革命を批判し、写実主義の先駆的な作家となった。

設問6 下線部 e に関連して、1820～30年代のヨーロッパの革命運動や反乱について述べた次の文の中で、誤っているものはどれか。

- イ 南ネーデルラント地域では武装蜂起が起こり、ベルギーがオランダから独立し、レオポルド1世が即位して立憲王国となった。
- ロ ロシアでは1825年にデカブリストの反乱が起きたが、鎮圧され、反動政治が強化された。
- ハ イタリアではカルボナリの活動は弾圧されたが、マッツイーニらが組織した「青年イタリア」が武装蜂起をおこなった。
- ニ ハンガリーではコシュートを中心とした独立運動が起きて独立を宣言したが、革命運動は弾圧によって崩壊した。

〔IX〕 次の文章を読んで設問に答えなさい。設問 1 ～ 4 はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークし、設問 5 は記述解答用紙の所定欄に記入しなさい。

19世紀後半から20世紀初頭のイギリスは、工業面ではアメリカ、ドイツの台頭を受け、「世界の工場」の地位が揺らいでいた。
A 対外的には、南アフリカ、アフガニスタン、イランなどにおいて帝国主義政策が行き詰まりを見せ、国内的にも労働者の権利要求
B C D E
が強まっていった。

設問 1 下線部 A に関連して、19世紀後半から20世紀初頭のイギリス政治、社会上の事件について、年代順に正しいものはどれか。

- イ スエズ運河会社株買収→議会法制定→イースター蜂起→第3回選挙法改正
- ロ スエズ運河会社株買収→第3回選挙法改正→議会法制定→イースター蜂起
- ハ 第3回選挙法改正→議会法制定→イースター蜂起→スエズ運河会社株買収
- ニ 第3回選挙法改正→議会法制定→スエズ運河会社株買収→イースター蜂起

設問 2 下線部 B に関連して、南アフリカ史上、年代順で3番目に当たるのはどれか。

- イ ブール人が、オレンジ自由国を建国した。
- ロ マンデラが、全人種参加の選挙で大統領に当選した。
- ハ デクラーク大統領によって、アパルトヘイトが法的に撤廃された。
- ニ イギリス帝国内の自治領として、南アフリカ連邦が成立した。

設問 3 下線部 C に関連して、アフガニスタン史について誤っているものはどれか。

- イ 1747年ドゥッラーニー朝により、アフガン王国が建国された。
- ロ 3次にわたるアフガン戦争の結果、イギリスはアフガニスタンを植民地化した。
- ハ 1979年ソ連はアフガニスタンに侵攻し、「第二次冷戦時代」の始まりと言われた。
- ニ 2001年アメリカは、ビン＝ラーディンをかくまうタリバーン政権を崩壊させるとの理由で、アフガニスタンを攻撃した。

設問 4 下線部 D に関連して、イラン史について正しいものはどれか。

- イ 1796年に成立したカージャール朝は、イギリス、ロシアなどからの干渉排除に成功した。
- ロ 1891年、イラン民衆は、イギリス商人のタバコ事業の独占に反対し、抵抗運動を行った。
- ハ 1905年に始まったイラン立憲革命は、イギリスの支持により、成功を収めた。
- ニ 1925年、イギリスの画策によってパフレヴィー 2 世は、パフレヴィー朝を建てた。

設問 5 下線部 E に関連して、フェビアン協会に参加し社会主義を唱える一方、『ピグマリオン』などの劇作でも知られる者はどれか。

〔以 下 余 白〕

